

伝えたい！  
私の街の  
産業ニュース

令和8年  
3月発行

Vol. 39

# ロケットによる 宇宙開発へ 挑戦とサポート ES ROCKET



## ES ROCKET 株式会社

代表取締役 澤 須美夫 (さわ すみお)

住所：西東京市芝久保町 2-13-8

URL：https://www.spacerocketry.com

ES ROCKET 株式会社

検索



国内では、法規制や打上げ場所が整備されていないことなどの理由から、ハイパワー・ロケットの製作・打上げに制限がある。そこで澤社長は、本格的なロケットの実現を目指して海外に目を向けた。現在も研究を重ねており、本年9月には2段式ロケットの打上げが予定されている。「最終的には数年かけて高度100kmを超える宇宙空間への到達を目指す」と澤社長は語る。このように、澤社長の実績と挑戦は日本では体験できない宇宙開発の実践的な活動に深く結びついている。また、毎年米国で開催さ



### 日本では体験できない 実践の場

アマチュア・ロケットには、教育玩具からライセンスが必要な規格のハイパワー・ロケットまで、様々な種類がある。その製作と仕上げを支援する事業者がES ROCKET(イーエスロケット)株式会社だ。同社の代表取締役である澤須美夫氏は、米国の実践的な技術専門書や、海外研究者の公開情報などを収集し、ロケット工学、航空工学、制御工学などを独学で習得している。また、オーストラリアや米国でロケットの仕上げを重ね、米国でハイパワー・ロケットの打上げに必要な最高位ライセンスである「レベル3」を日本人で初めて取得した。澤社長は日本においてアマチュア・ロケットの分野に精通している第一人者である。

### アマチュア・ ロケットに精通

れる国際ロケット技術競技会(IREC)では、世界各国の大学生が参加し、ロケットのデザイン・技術・仕上げなどが審査され、搭載する小型人工衛星なども評価の対象となる。令和7年は21か国196チーム、7,000人以上が参加したが、日本からの出場実績は未だにない。澤社長は日本人で唯一審査員を務めた経験があり、「日本で宇宙開発に興味を持つ学生たちに、自分の知識や経験を伝えていきたい。日本の学生の競技会出場を支援していきたい。」という強い思いを抱いている。

### 技術教育の空白を埋め、 宇宙開発人材を創出

「国内では玩具のロケットに触れる機会はあっても、実践的な製作や仕上げの環境が整っていないため、日本の宇宙技術教育は欧米よりも大きく遅れ、新興国にも抜かれている。」と澤社長は言う。日本の技術水準を国際レベルへ引き上げることを目指し、ES ROCKET株式会社では、アマチュア・ロケットの製造・仕上げを支援するとともに、米国のライセンス取得を支援する「ハイパワー・ロケット・アカデミー」を開講している。宇宙開発に興味のある人材を増やし、日本の技術水準向上を目指す澤社長の挑戦は続いている。



## 物価高騰対応生活応援事業

### 1. 生活応援カード利用開始のお知らせ [4/1☎10:00~]

4月1日(水)午前10時から、生活応援カードがご利用いただけます。有効期限を過ぎると残高が無効となりますので、お忘れのないようご利用ください。

<有効期限>

4月1日(水)午前10時~8月31日(月)まで

<生活応援カードが使えるお店>

カードに同封の参加店舗一覧(チラシ)をご覧ください。また、最新情報は公式サイトからご確認ください。

☎利用者用コールセンター

(平日午前9時~午後5時)

☎0120-90-0101



生活応援カード  
公式サイト

## Information

産業振興課

### 2. 参加店舗募集

市民に配布する生活応援カードが利用できる店舗として、本事業への参加店舗を募集しています。募集期間は令和8年7月31日(金)までです。換金手続不要、換金・決済手数料は無料です。

詳しくは生活応援カード公式サイト「事業者の方はこちら」をご覧ください。

☎事業者用コールセンター

(平日午前9時~午後5時)

☎0120-94-0101